

4 段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン	夢や目標をもち、主体的に学ぶ、粘り強い生徒の育成。
----------	---------------------------

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析 (○) 及び改善策等 (◇)	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知 育	重点目標： 主体的な学びによる学力の向上 手段： 1 キャリア教育の視点を意識した教育活動を行い、夢や目標をもたせる。 2 小中一貫性のある学習指導、ICTの活用、ひなたの学びをすすめ、授業改善を推進する。 3 「個に応じた指導」を充実させることで、「できる・分かる」実感をもたせる。 4 英検の適切な級への受験を推進し、3級合格3名以上を目指す。 また、漢検においては、3級合格8名以上を目指す。	1について ○ 生徒の評価と比較して保護者の評価が低い傾向にある。子どもの取組へのさらなる期待感があるのではないかと考えられる。 ○ 地域のもの・事・人を活用した多くの体験学習を通して、地域の良さや働く意義等について理解を深める取組ができた。 ◇ 農業関連の体験は充実しているが、様々な職種や多様な進路選択を考えられることができる取組も必要である。	3	3	○ 中学校の早い段階で、子どもの将来のことへの意識を高めることは大切だと思います。引き続き、積極的に学校、家庭で意識向上に向けて取り組んでいただきたい。 ○ これからの子どもたちは、ICTの活用なしでは考えられない時代となっている。学校では、継続して、小中合同で積極的な取組を推進していただきたい。 ○ 英検、漢検など目標を定めて推進されており、ほぼ目標を達成されている。今後も継続していただきたい。
	2について ○ 授業では、目的を意識しながら場面に応じてICTの活用を通して、「協働的な学び」や「生徒の表現活動」を意識した研究を小中合同で行うことができた。 ◇ 令和7年度の市の研究発表に向けて、小中一貫した研究をさらに推進していく。				
	3について ○ 学力調査等の分析を継続的に行うことで、より具体的に陥没点を把握でき、授業改善につなげることができた。対外テストの結果も地区平均を大きく上回っており良好であった。 ◇ 授業内容の理解度に生徒と保護者間で、評価の差がみられることから、家庭学習のあり方について研究を進めていく必要性がある。				
	4について ○ 3級以上合格者は英語検定で2名、漢字検定で7名であった。おおむね目標を達成できた。 ◇ 今後も検定受験を推進していく。				

<p>徳 育</p>	<p>重点目標： 豊かな人間性・主体的に生きる力の育成 手段： 1 校内、校外を問わず、自発的で元気なあいさつを目指す。 2 道徳教育や人権教育の充実に努め、豊かな人間性を育むことで、「いじめゼロ」「不登校ゼロ」を目指す。 3 一人一人に寄り添う支援や教育相談の充実に努め、自己決定させる場面を意図的に設けることで自尊感情を高める。 4 生徒の長所を伸ばす支援を行うことで、困難に前向きに取り組み、乗り越えようとする態度と自信を育てる。 5 スクールワイドPBS、発達支持的生徒指導を推進し、生徒一人一人に自己指導能力を身につけさせる。</p>	<p>1について ○ 生徒の評価は高い(3.5)が、全体的に声が小さいと感じる。 また、保護者アンケートでは、昨年度と比較すると+0.5となっており、あいさつを含めた基本的な生活習慣について、良い方向に改善されていると思われる。 ◇ その場での常時指導を継続していく。</p> <p>2について ○ いじめ等のトラブルは確認できなかったが、不登校の解消はできなかった。 ○ 道徳の時間を100%実施することができた。 ◇ 不登校については、今後も自己決定の場面を設定し、じっくり時間かけて取り組む。</p> <p>3, 4, 5について ○ 生徒一人一人に、常時声かけを行うとともに、学期に1回全員を対象に教育相談を行った。気になる生徒については、養護教諭との相談を通しての支援も行った。 ○ 悩みを抱えている生徒には、自己決定の場面を設定し、じっくり時間かけて取り組んだ。 ○ 学校行事やボランティア活動へ自発的・主体的に取り組んでいる。本年度は、「届けよう、服のカプロジェクト」、地域行事への企画からの参加など積極的な取組がみられた。 ◇ 今後も地域行事への企画段階からの参加を促す。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>○ 不登校生徒への働きかけは、学校としても難しい問題だと思いますが、熱心に行っていただいています。今後も、生徒・保護者に寄り添っていただき、対応を継続していただきたい。 また、「市豊かな学びの支援」などを利用して、学校への復帰や社会的自立を目指していただきたい。</p> <p>○ いきいき協議会への積極的な参加、ありがたく思います。今後も地域の行事や祭りなどへの関わりをもっていただきたい。</p>
<p>体 育</p>	<p>重点目標： 健康・安全教育、体力・競技力の向上 手段： 1 ネット、ゲーム、スマホ等の使用について生徒への指導と保護者への啓発を行うことで、7時間以上の睡眠時間の確保を図る。 2 目の健康について、視力検査と目の運動についての指導を行う。 3 体力向上プランを基に体育的行事や部活動の指導の充実に図り、体力向上、競技力の向上を目指す。 4 授業開始・終了時の立腰指導を含め、日常生活の正しい姿勢づくりを図る。</p>	<p>1について ○ 毎月実施している「いじめに関するアンケート」では、ネット上のトラブルは確認できなかった。年2回生徒を対象としたネット上の危険性についての学習を実施し、毎月の啓発活動に取り組んだ。 ◇ 取り扱いについては、生徒と保護者の認識に大きなずれが生じている。家庭との連携に努める。</p> <p>2について ○ 目の健康の重要性について、講話や視力検査を通して、意識付けを行った。 ◇ 生徒の視力低下については、全国的な課題でもあるため、啓発・指導を継続していく。</p> <p>3について ○ Tスコア48項目中29項目で平均を上回った。目標を達成することはできなかったが、体育の授業・部活動を通して、体力作りに努めた。 ◇ 今後も、学校生活の様々な場面で体力向上に向けての取組に努める。</p> <p>4について ○ 立腰については、各授業の始めや終わり、集会等で行っているが、職員・保護者ともに評価が低い。 ◇ 習慣化されているものの、正しい立腰姿勢を指導していく。</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>○ ネット上の危険性について、生徒と保護者の認識に大きなずれがあることが気になります。ネット社会の中で、今後、子どもたちに与える精神的・肉体的な影響が心配です。今後も、可能な限りの指導と、家庭との連携を継続してお願いします。</p> <p>○ ネット利用については、抑制することは難しいと思われるので、利用に関しては、メリハリを付けることが必要だと思います。特に、家庭での指導が必要だと思います。</p>

食育	<p>重点目標： 健康な身体づくりのための「食」に対する意識高揚と実践力の向上。</p> <p>手段： 1 残食0を基本とした給食指導の充実及び朝食の重要性を啓発することで朝食抜き0を目指す。 2 「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発により確実な実践（年5回）を目指す。</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に食育だより（通信）を発行し、食に関して啓発できた。さらに、栄養教諭と連携して、食に関する学習を実施することができた。 ◇ 朝食に関しては、ほぼ毎日食べないと回答する生徒が1名いる。朝食の重要性について、栄養教諭の講話を元に、本人・保護者に継続して支援していく。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間5回設定したが、その内4回を主体的、計画的に指導、実施できた。取組に関しては、昨年度と比較して生徒アンケートで-0.5で平均3.3。保護者アンケート平均2.9となっており、取組への負担感があるのではないかと考えられる。 ◇ 次年度は、年3回の実施とし、生徒・保護者に「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発を行う。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 弁当の日については、年間5回の取組について、生徒・保護者への負担感があるとのことだが、年3回の実施に変更するにしても、生徒・保護者ともに、取組の必要性について、再認識することが大切だと思います。 ○ 保護者の立場として、弁当は確実に自分で作ることを進めていただきたい。
その他	<p>重点目標： 保護者や永久津小学校、地域との連携の推進</p> <p>手段： 1 管理職や主任の打合せを密に行い、合同職員会議の充実及び保護者や地域との連携強化を推進する。 また、生徒の主体性や郷土愛を育むため地域の行事（永久津ドンと祭り）に企画段階から関わらせる。</p> <p>2 学校だよりや学級通信の定期的な発行とホームページの積極的な更新を行う。</p> <p>3 効率的な業務の推進を図る。</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同の職員会や研修を実施したことで、円滑に合同行事計画の全実施ができた。生徒アンケートによる評価(3.5)、保護者アンケート評価(3.7)で高い評価である。 ○ 健幸こぼやし大運動会、永久津ドンと祭りなどに地域の一員として、多くの生徒・保護者が関わることができた。特に、永久津ドンと祭りでは、3年生が企画の段階から参加することで、地域の中で果たす役割についての意識が高まった。 ◇ 今後も合同行事計画の全実施を目標に職員会や研修会の充実を図る。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりや学級通信等の定期的な発行、ホームページの更新を通して、積極的に外部への情報発信ができた。生徒アンケート平均3.4。保護者アンケート平均3.7となっており、昨年度より評価が上がっている。 ◇ 今後も積極的に学校情報公開を進めていく。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議の効率化等によって、時間外勤務の縮小ができています。 ◇ 今後も職員のワークライフバランスを意識した働き方改革を推進していく。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の一員として、地域の中で果たす役割についての意識が高まっていることに、うれしく思います。 ○ 地域行事への積極的な協力、大変ありがたいです。 ○ 先生方のご理解、ご協力により地域との連携も取れ、子どもたちもふるさとを思う気持ちが強くなったと感謝しています。
次年度の方向性についての校長所見	<p>本年度の学校経営ビジョンに基づき、学校と家庭の連携の下、ある程度の成果を上げることができた。「知・徳・体・食」のうち「体」の領域については評価の結果を受け、指導の充実を図りたい。次年度は本中学校地区で、市の指定を受けた研究公開が予定されている。学力向上を目指した授業改善の工夫が柱となるが、教育課程の工夫及び改善や本地区ならではの地域とともに子どもを育てている取組についても広く知らせていきたい。</p> <p>また、生徒の個に応じた支援を充実させるとともに地域を愛する生徒の育成に取り組んでいきたい。</p>				